

島根県柔道

浜岡

(松江一中教)

V9

女子

男子は南波(島根県警) 13連覇

柔道の男子第35回、女子第27回島根県選手権は5日、松江市の県立武道館であり、男子の南波利

中教)が9年連続9度目の優勝を飾り、大会には男子28選手、女子21選手が出場、無差別のトーナメント戦を行

内またで一本勝ち。女子決勝は浜岡と石川真希(出雲西高)の師弟対決となった。浜岡が一本背負い投げで一本勝ちを収めた。

男子の上位4選手、女子の上位3選手は全日本選手権中国地区予選会(3月4日・岡山)に出場する。



【女子決勝】一本背負い投げで一本勝ちを収め、9連覇を決めた浜岡睦月(下) 島根県立武道館

「これまでの決勝で一番の思い出になった。石川と戦えて良かった」と浜岡が感慨に浸った。決勝の相手は教え子。一先生と試合するのが目標の石川の一言で、浜岡は引退を踏みとどまり、9連覇を成し遂げた。

体育教諭の浜岡は2008年、松江一中に赴任。ここで当時3年生の石川を指導した。2年前の県選手権準決勝で、浜岡は石川を支え釣り込み足で下した。

中学校で浜岡は3年生の担任となり、練習時間が激減した。「引退」の2文字が頭に浮かぶ度、石川の言葉が支えとなり、気持ちを切り替えた。

浜岡

決勝は師弟対決

感慨深い一本勝ち

この日も石川は「決勝まで行きますよ」と恩師に決意を示した。「待っているよ」と、浜岡も教え子の活躍に期待を寄せた。

県選手権で2度目の師弟対決が実現。石川は果敢に攻めてきた。思い切り当たってきてくれた」と浜岡は受け止め、タイミングを見計らって、一本背負い投げで一本勝ちを収めた。

師弟の2選手は全日本選手権中国地区予選会の出場権を獲得した。浜岡は「全日本に初出場するためにも、今は全力を尽くす。将来のことは、それから考える」と気持ちを新たにしていた。